

漁海況月報

令和2年7月1日

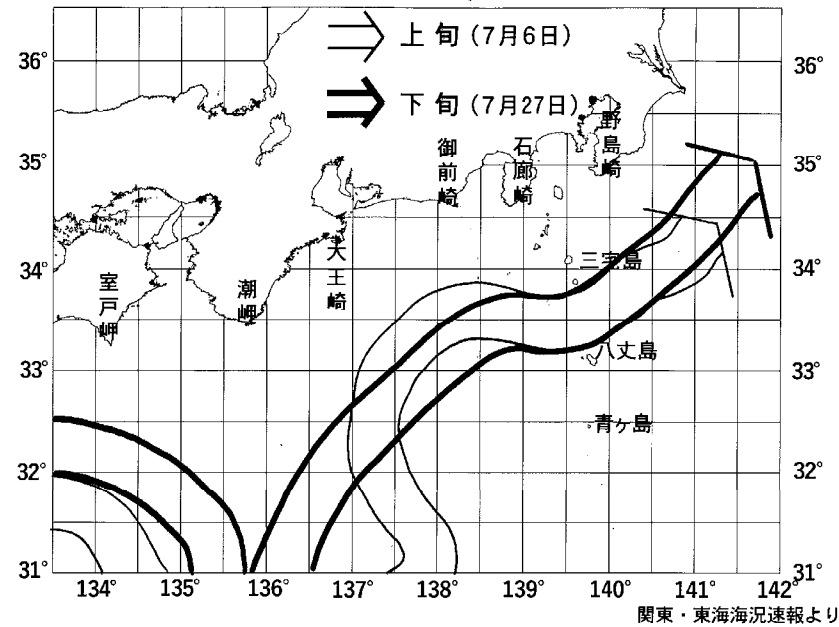
No.7 ~7月31日

静岡県水産・海洋技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



7月定地水温の旬平均値() (下段は平年偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	21.4	18.9	18.8	23.2	23.3	22.9
	-0.6	-2.3	-2.8	0.4	0.5	0.2
中旬	22.2	21.5	21.3	22.9	23.5	23.9
	-0.8	-0.3	-0.5	-1.0	-0.5	0.1
下旬	23.9	22.5	22.5	25.1	25.0	24.3
	-0.4	-0.2	-0.4	0.2	0.2	-0.5
月	22.5	21.0	20.8	23.8	24.0	23.7
	-0.6	-0.9	-1.3	-0.1	0.0	-0.2

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

7月を通じてA型で、潮岬を大きく離岸し、29.5-31°N付近まで南下した後、遠州灘～石廊崎沖まで北上し、八丈島の北を通過して北東へ流去した。

上旬は29.5°N付近まで南下した後、S字状に遠州灘沖を北上する流路となったが、沿岸沖合域に暖水波及は見られなかった。

中旬は29.5°N付近まで南下した後、直線上に遠州灘沖を北上する流路となり、熊野灘～遠州灘沖

に暖水波及が見られた。

下旬は31°N付近まで南下した後、石廊崎沖まで北上する流路となり、遠州灘～石廊崎や大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

【県下沿岸域】

上旬は伊東が「やや低め」、稲取が「低め」、下田が「かなり低め」、雲見、焼津が「平年並」、沼津が「やや高め」であった。中旬は伊東、下田、雲見、沼津が「やや低め」、稲取、焼津が「平年並」であった。下旬は焼津が「やや低め」、焼津以外が「平年並」であった。

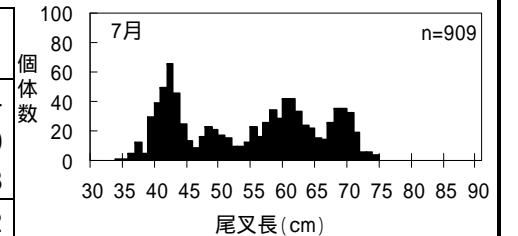
【竿釣りカツオ】

7月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは141.2トンで前年同月(75.6トン)の1.9倍であった。魚価は512円/kgで前年同月(307円/kg)を上回った。

漁場は33.5-34°N、138.5-139°Eの伊豆諸島周辺海域などであり、御前崎港で測定した魚体サイズは、極小(尾叉長42cm)を主体に、小(尾叉長43cm)、大(尾叉長60-61cm)、特大(尾叉長68-69cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻(ト)	平均単価(円/kg)
R2年7月上旬	13.2	7	1.9	534
中旬	66.1	24	2.8	550
下旬	61.9	24	2.6	468
R2年7月計	141.2	55	2.6	512
R元年7月計	75.6	33	2.3	307
H30年7月計	153.9	50	3.1	248



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は179.3トンで前年(217.8トン)の82%であった。また、1か統あたりの水揚げ量は、25.6トンで前年(31.1トン)の82%、平年(42.1トン)の61%であった。水揚げの多い漁場は、古網漁場(38.7トン、さば類、マイワシ、ウルメイワシ)、次いで北川漁場(31.7トン、さば類、イサキ、ヤマトカマス)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)の通りで、さば類は85.5トン、前年比1.0倍、平年比81%であった。このうち、マサバは2.0トン、前年比18%、平年比23%、ゴマサバは83.4トン、前年比1.2倍、平年比83%であった。ウルメイワシは15.5トンで、前年比58%、平年比3.3倍であった。イサキは13.3トンで、前年比3.0倍、平年比3.6倍で、7月の水揚げ量としては昭和57年以降、最も多かった。プリは11.4トン、前年比4.4倍、平年比63%で銘柄わかし主体であった。水揚げされたプリのうち、銘柄わかしは7.0トン、前年比5.2倍、平年比5.3倍で、7月の水揚げ量としては昭和57年以降、最も多かった。マイワシは8.6トンで、前年比20%、平年比21%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)の通りで、各漁場の水揚げ量の割合は、さば類では北川漁

場が20% (17.0トン)、赤沢漁場が20% (16.8トン)、川奈漁場が15% (12.9トン)、ウルメイワシでは川奈漁場が40% (6.2トン)、古網漁場が33% (5.2トン)、イサキでは谷津漁場が65% (8.6トン)、北川漁場が28% (3.8トン)、ブリでは古網漁場が36% (4.1トン)、伊豆山漁場が32% (3.6トン)、赤沢漁場が18% (2.0トン)、マイワシでは古網漁場が99% (8.5トン)を占めた。

* 平年：昭和57年～令和元年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	85.5	1.02	0.81	北川、赤沢、川奈
ウルメイワシ	15.5	0.58	3.33	川奈、古網
イサキ	13.3	3.00	3.55	谷津、北川
ブリ	11.4	4.36	0.63	古網、伊豆山、赤沢
マイワシ	8.6	0.20	0.21	古網

[サバ棒受網・たもすくい]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じて棒受網主体で操業したが、中旬から下旬にかけて一部の船がたもすくい操業を行った。漁場は上旬は三宅、中旬は三宅、大室出し、下旬は大室出し、利島北部、高瀬、ひょうたん瀬に形成された。水揚量はゴマサバ266トン(前年同月比53.2倍)であり、1隻あたり水揚量は11.1トン(前年同月0.5トン)であった。マサバの水揚げはごく僅かであった(前年同月水揚げ無し)、1kgあたり平均単価はマサバ332円で前月(271円)を上回った。ゴマサバは134円で前月(138円)をやや下回り、前年同月(123円)を上回った。

水揚げされたゴマサバの体長組成は31cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(棒受網・たもすくい漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R2年7月上旬	-	13	1	2	-	6.6	-	153	三宅
中旬	0	86	3	8	0	10.8	358	143	三宅、大室出し
下旬	0	166	6	14	0	11.9	261	128	大室出し、利島北部、高瀬、ひょうたん瀬
R2年7月計	0	266	10	24	0	11.1	332	134	三宅、大室出し、利島北部、高瀬、ひょうたん瀬
R元年7月計	-	5	5	11	-	0.5	-	123	-
H30年7月計	-	608	13	40	-	15.2	-	93	ひょうたん瀬

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったこと、「0」は水揚げがごく僅かであることを示す。

[シラス船曳網]

県内主要6港における1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が307kg/統、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が447kg/統であった。主要6港全体では391kg/統と前年同月(406kg/統)の96.2%、平年同月(過去5年平均:310kg/統)の1.3倍であった。また、水揚量は680.0トンで前年同月(858.1

トン)の79.2%、平年同月(426.1トン)の1.6倍と、前年同月を下回り、平年同月を上回った。平均単価は818円/kgと、前年同月(829円/kg)の98.8%、平年同月(845円/kg)の96.9%と、前年、平年同月並となった。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	61.2	12	152	403	770
舞 阪	212.1	12	471	450	843
福 田	155.5	12	318	489	721
御前崎	36.0	9	99	364	708
吉 田	164.3	16	435	378	846
静 岡	50.9	14	266	191	1,064
R2年7月計	680.0	75	1,741	391	818
R元年7月計	858.1	99	2,113	406	829
H30年7月計	300.9	66	1,373	219	1,408

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期：過去5か年(平成27～令和元年)平均値

*1そう曳きの場合は1隻で1か統、2そう曳きの場合は2隻もしくは運搬船を含んだ3隻で1か統とする。

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、静岡港では0.3トン(前年同月水揚げ無し、平年同月比5.5倍)、沼津港では1.0トン(前年同月比6.7%、平年同月比1.5%)、小川港では17.1トン(前年同月比12.9倍、平年同月比2.7倍)、伊東港では水揚げが無かった。カタクチイワシは、伊東港、静岡港、沼津港、小川港では水揚げが無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは8.6トン、カタクチイワシは5.6トンであった。

* 平年：過去5か年(平成27～令和元年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

7月 6日	公共用水域水質測定調査	(1日間)
7月 9日	地先定線観測調査	(1日間)
7月 13日 ~ 7月 14日	キンメダイ親魚採捕調査	(2日間)
7月 15日 ~ 7月 16日	サクラエビ調査(卵・幼生)	(2日間)
7月 20日 ~ 7月 22日	伊豆諸島周辺カツオ魚群分布調査	(3日間)
7月 27日 ~ 7月 28日	サクラエビ調査(卵数法)	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

